



えんじゅ

春日市立春日小学校

校長室便り No.6

令和元年6月17日

文責：校長 福島

オヤジ&チイキの千カラ



先週土曜日に、おやじの会が自転車教室開催を前に、4年生の自転車に乗れない子供や運転に自信がない子供を対象にプレ自転車教室を行ってくれました。

9時30分、オヤジたちのあたたかく熱い指導が始まりました。危なっかしい運転の子もいれば、支えてあげないと倒れてしまう子もいます。「ゆっくり乗れるようになることが大切だよ。」「ほら、ブレーキをかけて!」「しっかりペダルを踏んで!」オヤジたちの額には汗が浮かんでいました。

あっという間に時間は過ぎていきました。11時10分、残り時間はあと20分。まだ乗れない子が1名いました。ちょっと難しいかなあ…、でもオヤジ達はあきらめません。「自由にどこでも行っていいからね。思いっきりペダルをこいでみよう。」そう言って支えていた手を離すと、10mほど乗れました。「おおっ!いけるぞ!」何度か繰り返すと、魔法にかかったようにすいすい乗れるようになりました。汗びっしょりになって拍手を送るオヤジ。遠くからその光景を見て涙を流すオヤジ。はじける笑顔でお礼を言う子ども。いい光景でした。

午後は、おやじの会と昇町・小倉地区のコラボによる「逃走中」が開催されました。私もハンターとして楽しませてもらいました。雨で体育館での開催となりましたが、170人近くの子もたちが参加し、体育館は熱気であふれていました。学校で見せる子供の姿とはまた違った無邪気な姿がみられました。たくさんのハンターの登場で子供達は大喜びでした。

大人のすごさを見せつけようと追いかけてまわりましたが、子供のすばしっこさにダウンするハンターも。西先生は青ざめた顔で「はきそう」と言っていました。

子供のために頑張る方々がたくさんいらっしゃることに勇気もらった1日でした。校歌に、「よい子が育つ 春日校」と歌われていますが、「よい子が育つ 春日コミュニティ」です。おやじの会の皆様、昇町・小倉地域の皆様、ありがとうございました。